

☆ Imagine ☆

『ひと』と『まち』が元気に、地域力UP!



- 令和4年第1回定例会が2月21日から3月22日までの30日間の日程で開催され、市長提出議案20件、請願2件、議員提出議案1件、委員会提出議案2件を審査しました。主なものは次のとおりです。

- 1 令和4年度一般会計予算を修正可決、5つの特別会計予算と公共下水道事業会計を原案可決しました。

会計別予算総括表

(単位：千円、%)

会計名	令和4年度	令和3年度	比較	増減率	令和3年度 増減率	
一般会計(修正可決後)	22,326,410	21,478,178	848,232	3.9	5.1	
特別会計	後期高齢者医療特別会計	1,105,000	967,500	137,500	14.2	0.6
	久保特定土地区画整理事業特別会計	538,700	510,100	28,600	5.6	23.9
	国民健康保険特別会計	6,352,400	6,574,200	▲221,800	▲3.4	▲1.4
	介護保険特別会計	5,581,200	5,392,500	188,700	3.5	2.7
	埼玉県央広域公平委員会特別会計	528	535	▲7	▲1.3	14.3
	小計	13,577,828	13,444,835	132,993	1.0	1.1
公共下水道事業会計	1,753,652	1,725,737	27,915	1.6	▲5.9	
合計	37,657,890	36,648,750	1,009,140	2.8	3.0	

- (1) 一般会計予算修正の内容は、久保特定区画整理事業地内の都市計画道路：西仲通線の計画内容を見直すための土木費・都市計画費の調査費について、1,659万円を減額修正するものです。

昨年8月28日の地権者説明会や昨年11月1日発行「広報きたもとNo.1005」において、デーノタメ遺跡の国指定史跡化と土地区画整理事業の早期完了を図るため、デーノタメ遺跡とその周辺部を土地区画整理事業区域から除外し、現在の西仲通線を遺跡エリアからデーノタメ遺跡の西側へ迂回するルートに変更する見直し案が市から示されました。

平成8年度から開始された土地区画整理事業が早期に完了することが最重要課題ですので、デーノタメ遺跡とその周辺部を除外し施工区域を縮小し、事業経費の縮減と事業期間の短縮を図ることに異議はありません。

しかし、事業開始から25年が経過し、仮換地の指定が100%にもかかわらず供用開始ができない土地の問題、地権者の高齢化や相続問題等を考えますと、施行者としての市の責任は重いものと思います。

今後の国からの補助金や事業予算の問題もありますが、まずは縮小した区画整理区域内の事業の早期完了を最優先とし、西仲通線の都市計画(ルート)変更やデーノタメ遺跡の国指定も含めた保存については、広く市民の皆さんのご意見等を伺いながら慎重に対処すべきだと思います。

- (2) 旧栄小学校の敷地内に計画途中である新中央保育所の建築工事が着工します。予定工事費と設計料の合計は6億1,749万円です。なお、令和5年3月に完成し、夏頃に開所予定です。又、構造は鉄骨造・平

家建で定員は116人の予定です。この建築費相当分が昨年度予算と比較しての増加の要因です。

- (3) 南小学校と西小学校の2カ所を対象に40人規模の民間学童保育所が4月1日から開所しました。なお、市の学童保育室の利用料と同等の費用負担とすることを想定して補助金が交付されます。
 - (4) 昨年の千葉県八街市の児童死傷事故から市内でも通学路の安全点検を実施した結果、危険箇所が44カ所あり、国の補助金を活用する形で、5年計画で安全対策工事を実施します。令和4年度は4カ所実施します。事業予算は5,605万7千円です。(対象箇所は一般質問の部分を参照下さい。)
 - (5) 北本駅東口でも雨に濡れることなく、誰もが安全に快適に公共交通等を利用できるように、ロータリー歩道に屋根を整備します。令和4年度は、令和3年度に実施した基本計画をもとに、市民の皆さんのご意見等を集約し詳細設計を策定します。なお、屋根整備の設計委託料は1,500万円の予定です。
 - (6) 北本4丁目地区内の「あずま通り」と「東中央通り」の交差点付近については、令和3年度に用地買収が行われましたが、令和4年度一般予算において交差点改良工事が実施されることになりました。
2. その他、①石戸蒲ザクラ国指定100年記念事業 ②産婦健康診査(費用の一部補助)事業 ③成人歯科個別検診事業 ④重層的支援体制整備事業 ⑤企業版ふるさと納税の実施・促進 ⑤子どもの権利に関する条例の制定 等(北本市議会ホームページ、5月1日発行「議会だより」等を参照ください。)

● 令和4年第1回定例会で行った一般質問の概要です。

1. 快適で安心・安全な暮らしやすい「まちづくり」について

- (1) 昨年の通学路点検で改善が必要とされた危険箇所とその要望内容について
(ア)荒井歩道橋の北側の市道6216号線 (イ)北小の北側の市道2号線 (ウ)中丸東小の西側市道2226号線 (エ)宮内中西側の市道6号線の4カ所で、スクールゾーン、ポール設置、グリーンベルト増設や横断歩道設置等の要望があり、教育委員会として集約し関係課や関係機関へ要望しています。尚、この4カ所については、令和4年度道路整備事業で補修等の改善予定との答弁でした。
- (2) 市道2237号線と2241号線の本宿五丁目の交差点についての点検結果や要望事項等について
登校時にはスクールゾーンですが、下校時も交通量が多いのでスクールゾーン設置の要望があり、関係課や関係機関に要望書を提出していますが、児童生徒の安全確保のためにスクールゾーン以外の対応も関係課や関係機関とも連携し、改善に向けて粘り強く取り組んでいきますとの答弁でした。
- (3) 北本駅東口駅前広場屋根整備事業の現状と今後について
令和3年度で基本構想を固めましたので、令和4年度では市民の意見等を集約し基本設計を策定する予定です。又、整備にあたり利便性向上のため車両交通の利用状況等の問題点等の整理を行い、総合的な駅前広場の再編を進めますとの答弁でした。

2. ポストコロナの産業振興について

- (1) 今後の産業振興のための取組と方向性について
第5次北本市総合振興計画において、様々な地域資源を活用し、活力のあるまちを目指し、地域経済循環の推進のためにリニューアルした農業ふれあいセンター活用を重要な取組としています。又、平成31年3月に策定した北本市産業振興ビジョンのアクションプランについても、その評価と改善点を明らかにし、令和3年度策定した第5次北本市総合振興計画後期計画の内容を踏まえて改定したいとの答弁でした。

【あしがき】・新型コロナウイルスの感染状況の高止まりが続く中、令和4年4月から老齢年金の繰り下げ受給の上限年齢の引き上げ(70歳から75歳へ)等の年金制度の改正、成年年齢の18歳への引下げ等大きな変更があるほか、ロシアによるウクライナ侵攻、資源価格高騰、インフレや円安など日常生活に対する影響が毎日のように報道されていますが、引き続き住民福祉の向上のために全力を尽くして行きたいと存じます。今後とも皆さんのお声をしっかりと市政に届けていく所存ですので、よろしく願いいたします。

市民の皆様のご意見等をいただきますようお願い申し上げます。 北本市議会議員 岡村有正

〒364-0006 北本市北本3-178-3

電話/FAX 048-591-4456

携帯090-1704-1623

e-mail:a.okamura5582@gmail.com